

会期・会場：2008年8月30日（土）～10月30日（木） 北海道立図書館北方資料室展示コーナー

遙か遠い昔日、未開の蝦夷地を旅した偉大な探検家や、異邦人たち。彼らの目には、どんな風景が映ったのでしょうか。開拓とともに道路や鉄道網が広がり、まちが開け、旅の有り様も変わっていきました。明治から平成へと時は移り、現在、北海道は観光立国として、自然との共生を目指すエコツーリズムや、観光マイスター制度をはじめとし、様々な取組みが行われています。時代を追った、多様な資料の数々をご覧ください。

	書名・著者名・出版者等	請求記号
	◆◆ 蝦夷地の旅人 ◆◆	
1	オホーツク探検史 北方領土を拓いた人たち 推理史話会／編 東京 波書房 医事薬業新報社 (発売) 1973 268p 19cm	281.04/SU
2	蝦夷地開拓者・最上徳内 満州鉄道弘報課／編 奉天 満州日日新聞社 康德8 160p 図版 19cm (大陸開拓精神叢書 7・8)	289/MO
3	菅江真澄の旅 いではみちの奥見にまからん 4 北海道編 [映像資料] ポルケ／制作 紀伊国 屋書店／企画 [東京] 紀伊国屋書店 2002 1巻(44分) VHS (シリーズ歴史を学ぶ 2)	VT/SU/555
4	菅江真澄と江差浜街道 小林優幸／著 札幌 みやま書房 1984 273p 19cm	289/SU
5	古川古松軒／イザベラ・バード 宮本常一／著 東京 未来社 1984 257p 20cm (旅人たちの歴 史 3)	291.04/MI
6	北夷談 樺太探検・北方経営の先駆者松田伝十郎の蝦夷地見聞録 現代語訳 松田伝十郎／著 中俣満／編訳 松永靖夫／監修 新潟 新潟日報事業社(発売) 2008 213p 21cm	210.088/HO
7	間宮林蔵 瓜生卓造／著 東京 山と溪谷社 1974 254p 19cm	289/MA
8	伊能忠敬を歩く 江戸から蝦夷へ四百里の旅ガイド「伊能忠敬の道」発掘調査隊／編著 東京 広 済堂出版 1999 143p 21cm (ウォーキングBOOK 3)	291.09/I
9	松浦武四郎 蝦夷への照射 更科源蔵／[著] 京都 淡交社 1973 232p 22cm (日本の旅人 14)	289/MA
10	松浦武四郎知床紀行集 松浦武四郎没後百年記念 松浦武四郎／著 秋葉実／解説 斜里町(網 走) 斜里町立知床博物館協力会 1994 97p 20×22cm	210.088/SH/ 1
11	外人の見たえぞ地 越崎宗一／訳編 札幌 北海道出版企画センター 1976 235p 図 19cm (北海道ライブラリー 3)	210.04/KO
12	ケプロン日誌 蝦夷と江戸 ホーレス・ケプロン／著 西島照男／訳 札幌 北海道新聞社 1985 405p 20cm	289/C
13	モースの見た北海道 鶴沼わか／編著 札幌 北海道出版企画センター 1991 210p 19cm	289/MO
14	小シーボルト蝦夷見聞記 H・v・シーボルト／[著] 原田信男／[ほか]訳注 東京 平凡社 1996 299p 18cm (東洋文庫)	7.0/SI
15	A curious life for a lady:the story of Isabella Bird, traveller extraordinary/Pat Barr. — Harmondsworth: Penguin, 1985, 347p; 20cm. — (Penguin books)	291.09/B
16	イザベラ・バードの日本紀行 下 イザベラ・バード／[著] 時岡敬子／訳 東京 講談社 2008 416p 15cm (講談社学術文庫)	291.09/B/2
17	エゾ地一周ひとり旅 思い出のアイヌ・カントリー A. S. ランドー／著 戸田祐子／訳 東京 未来 社 1985 274p 20cm	7.298/L
18	北日本に於ける一夏 ミッシェル・リポー神父による 蝦夷(北海道)の日本人とアイヌ ミッシェル・リ ポー／著 海野綾／訳 [横浜] [海野綾] 1996 194p 22cm	291.09/KI
19	ロシア人宣教師の「蝦夷旅行記」 セルギー／著 佐藤靖彦／訳 東京 新読書社 1999 343p 19cm	291.09/R

	書名・著者名・出版者等	請求記号
	◆◆ 近現代・旅のあれこれ ◆◆	
20	北海道史 附録 地図 北海道庁／編〔札幌〕北海道庁 1918 1冊(頁付なし) 22cm *「天明七年古河古松軒作製図」「明治十四年交通図」「大正五年交通図」ほか	210.1/HO/ 7
21	北海道旅行便覧 北海道庁第二部／編纂 札幌 北海道庁 1889 1冊(折りたたみ) 13cm	291.09/HO
22	北海道旅行唱歌 石森和男, 勝又【エイ】次郎／著 玉川瓶也／曲 札幌 富貴堂 明 34 25p 15cm	767.7/KA
23	北海道鉄道沿線案内 明治45年 北海道鉄道管理局／編 札幌区 北海道鉄道管理局 1912 276, 17p 図版 地図 19cm	686.53/HO/ M45
24	北海道移住者道内旅行便覧〔出版地不明〕〔出版者不明〕〔1917〕 130p 地図 18cm	291/HO
25	樺太の鉄道旅行案内 樺太庁鉄道事務所／編輯〔豊原町(樺太)〕 樺太庁鉄道事務所 1928 146p 図版 53枚 19cm	686.53/KA
26	北海道温泉案内 昭和9年版 札幌鉄道局運輸課／編 札幌 札幌鉄道局運輸課 1934 66p 15cm	291.09/SA/ S9
27	北海道をどういふふうに見物したらよいか 東京鉄道局／編 東京 東京鉄道局 1937 1冊 22cm	291.09/TO
28	稚内市鳥瞰図 稚内市／編 稚内 稚内市 1950 1冊 19×54cm(折りたたみ 19cm) *稚内市観光鳥瞰図(吉田初三郎作 18×50cm)含む	Y351.12/W
29	北海道の車窓展望〔東京〕 日本国有鉄道 1954 1帖(折図) 24cm	291/HO
30	切手に見る観光地 小西太紀郎／編 札幌 観光ジャーナル社 1980 118p 19cm	291.09/KO
31	忘れられた道 北の旧道・廃道を行く 堀淳一／文・写真 札幌 北海道新聞社 1992 122p 22cm	291.09/W
32	北の旅人 北の大地に甦ったSLの女王〔映像資料〕 札幌 JR北海道 1989 1巻(30分) VHS	VT/KI/119
33	北海道時刻表 1947. 5 日本交通公社札幌支店 1947.5.1	北方誌
34	くいしん坊! 万才 北海道編〔映像資料〕 東京 フジテレビ映像企画部 1996 1巻(30分) VHS	VT/KU/353
35	蝦夷あちこち 北海道名勝スタンプ帳〔出版地不明〕〔出版者不明〕 1950 1冊 9. 1×8. 5cm	P291/E
36	とかち八勝(北海道) 北門新報社推薦〔静止画資料〕 帯広 北門新報社〔1950?〕 8枚 15× 10cm *「北門新報」昭和25年7月11日紙上で発表されたもの。十勝八景とも称される	Iハ/310/6
37	観光バスの葉〔夕張〕 夕張乗合自動車 1955 1枚 36×26cm(折りたたみ 18×7cm)	P291.09/KA
38	右手に見えますのは… 昭和40年代の北海道観光 安田由美子／著 東京 文芸社 2007 178p 19cm	688.6/MI
39	北海道の観光ハイヤー サッポロガイド／編 札幌 サッポロガイド 1982 1枚 18×26cm	P685.5/SA
40	北海道鉄道百景 北海道鉄道百景編集委員会／編 日本国有鉄道北海道総局／監修 札幌 須田 製本企画出版 1985 116p(図版共) 27cm (North・Art vol. 2)	686.21/HO
41	駅弁の旅 北海道 山谷正／文と写真 札幌 富士書院 1988 203p 18cm (Shoin library)	596.8/Y/1
42	北海道みやげ品展覧会々誌 第1回 北海道産業部商工課／編 札幌 北海道産業部商工課 1931 145p 図版 23cm	688.5/HO
43	道産お土産品の葉 歓迎御視察団 札幌 今井呉服店食料品部〔19—〕 1枚(4つ折り) 18× 10cm	P688.5/D

	書名・著者名・出版者等	請求記号
44	おみや 札幌 イエローページ 2006 167p 26cm (イエローページムック)	596/O
45	観光みやげHOKKAIDO 163号 北海道観光土産品協会 2008.4.15 *空港土産品売れ筋ランキング 10 '08年1月実績	北方誌
46	北海道修学旅行ハンドブック 学び・調べ・考えよう 平和・国際教育研究会/編 東京 平和文化 2002 64p 21cm	291/HO
47	じゃらん 15巻5号 リクルート北海道じゃらん 2008.5.20 *新・ご当地グルメ大集合! 「富良野オムカレー」「オホーツク北見塩やきそば」から「ニセコ羊蹄コロッケ定食」まで	北方誌
	◆◆ 当世観光事情 ◆◆	
48	北海道自覧遊 秋・冬版 2008年版 台北 台湾東販 2007 190p 30cm	291.09/HO/ H20
49	地域からのエコツーリズム 観光・交流による持続可能な地域づくり 敷田麻実/編著 森重昌之 /著 京都 学芸出版社 2008 205p 21cm	688/C
50	全国エコツーリズム大会in洞爺湖 室蘭 「全国エコツーリズム大会in洞爺湖」実行委員会 2008 1枚 30×37cm(折りたたみ 30×21cm)	P688/Z
51	北海道ネイチャーツアーガイド 北海道のエコツーリズムを考える会/編 東京 山と溪谷社 2000 151p 21cm	291.09/HO
52	アイヌ語地名釣歩記 北海道のエコ・ツーリズムを考える 榊原正文/著 [札幌] 北海道出版企 画センター 2006 195p 21cm	7.29/A
53	そらちのトンボものがたり 空知グリーン・ツーリズム・ガイド 2002-2003 グリーン・プラネット/編 集 岩見沢 北海道空知支庁 2002 20p 23cm	P611.77/SO
54	体験王国HOKKAIDO 札幌 北海道経済部観光のくにづくり推進室 2007 34p 30cm	291.09/TA
55	OUTDOOR in HOKKAIDO 北海道経済部観光のくにづくり推進局/[編] 札幌 北海道経済 部観光のくにづくり推進局 2008 30p 30cm	786.3/O
56	シーニックバイウェイ北海道 “みち”からはじまる地域自立 シーニックバイウェイ支援センター/ 編著 東京 ぎょうせい 2006 210p 21cm	688.4/SH/ イ
57	シーニックドライブマップ 大雪・富良野ルート マッシュ/製作 札幌 シーニックバイウェイ支援セ ンター 2007 20p 15cm	682.9/SH
58	稚内観光マイスター 初級テキスト 稚内観光マイスター推進委員会認定作業部会/編集 稚内 稚内観光マイスター推進委員会 2008 92p 30cm	688/W
59	観光手帖 これからの北海道観光 札幌 北海道振興機構 2008 93p 21cm	688/KA
60	北海道観光のくにづくり行動計画 ともにつくろう地域が輝く感動のくに・北海道 北海道経済部観 光のくにづくり推進局/編集 札幌 北海道 2008 34p 30cm	688.1/HO/ イ
61	生活みなおし型観光をめざして 地域組み直しインフラとしての北海道観光 PART II-3 北海道開発 協会開発調査総合研究所/編集 札幌 北海道開発協会開発調査総合研究所 2007 177p 30cm	688.1/SE/ 2-3
62	北海道の観光力 現在と未来 リクルート北海道じゃらん/[編] 札幌 リクルート北海道じゃらん 2005 167p 26cm	688/HO
63	再生とかち観光 スローな空間を求めて 「再生とかち観光」取材班/編 帯広 十勝毎日新聞社 2005 92p 26cm (かちまいブックレット VOL. 3)	688/SA
64	旅遊革命 北海道の未来を観光で創ろう 三田村慎治/著 [札幌] アイワード(印刷) 2002 149p 21cm	688/R
65	鶴の村のデクノボー 観光課長奮戦記 能勢馨司/著 札幌 北海道新聞社 1993 251p 19cm	318.2253/ TS
66	うおんつブックレット Vol. 60 太陽 2008.2.1 *持続可能な「北海道型」地域観光 谷口善雄/著	北方誌

	書名・著者名・出版者等	請求記号
67	開発こうほう No. 542 北海道開発協会 2008.8.25 *地域と共生する持続可能な観光地づくり 弟子屈町	北方誌
68	観光会議ほっかいどう 集客マーケティングのヒント&レポート Vol. 22 じゃらん観光ビジネス研究プロジェクト 2007.6.15 *巻頭特集 発表！2006年「道内人気観光地調査」ほか	北方誌
69	北の交差点 Vol. 23 北海道道路管理技術センター 2008.8.1 *観光の新しいスタイル、ペロタクシーで街巡り	北方誌
70	週刊ダイヤモンド 95巻29号 ダイヤモンド社 2007.7.28 *特集 激変！ニッポンの観光	一般誌

★ ★ ★ ★ ★ 蝦夷地の旅人メモ ★ ★ ★ ★ ★

**最上徳内** 1755 (宝暦5) ~1836 (天保7)

江戸時代の北方探検家。1785 (天明5) 年に国後、翌年は択捉を調査。1791 (寛政3) 年、アイヌ救済のため各地をまわり、翌年は樺太巡視。1798 (寛政10) 年に近藤重蔵と千島を調査。

**菅江真澄** 1754 (宝暦4) ~1829 (文政12)

自然・民俗・地理等の観察記録家。1783 (天明3) 年三河を出て北上。1788 (天明8) 年松前に渡り4年間滞在。

**古川古松軒** 1726 (享保11) ~1807 (文化4)

地理学を好み、測量術に長じ、各地を旅行。1788 (天明8) 年、奥羽・松前を巡見し、『東遊雑記』を著す。

**松田伝十郎** 1769 (明和6) ~1843 (天保14)

江戸時代の蝦夷地探検家。1799 (寛政11) 年、蝦夷地御用掛となり、1821 (文政4) 年の松前藩復領まで、長らく北海道、樺太の探検と行政に従事。1808 (文化5) 年、間宮林蔵とともに樺太調査。この島を離島と結論。

**間宮林蔵** 1775 (安永4) ~1844 (天保15)

江戸時代の探検家。地理学者村上島之丞の配下となり、1800 (寛政12) 蝦夷地に渡る。1808 (文化5) 年には、松田伝十郎とともに樺太見分。樺太と大陸間の海峡 (間宮海峡) を発見。

**伊能忠敬** 1745 (延享2) ~1818 (文政元)

江戸中期の測量家。50歳で隠居し、天文学を学ぶ。1800 (寛政12) 年、56歳のとき、蝦夷地南東沿岸測量を願い出て許可される。また、17年間の全国測量は、伊能図といわれる『大日本沿岸輿地全図』と大成する。

**松浦武四郎** 1818 (文政元) ~1888 (明治21)

世界的な北方探検家、開拓判官、著述家。1833 (天保4) 年から諸国遊歴を開始。1845 (弘化2) 年以来、数回蝦夷地に渡る。『東西蝦夷山川地理取調日誌』ほか著作多数。「北海道」の名付け親。

**ケプロン** Horace Capron 1804 (文化元) ~1885 (明治18)

アメリカ人。開拓使の御雇外国人。御雇教師頭取兼開拓顧問。1871 (明治4) 年来日。約4年間、道内を視察・調査し、北海道の開発に関する意見を開拓長官に具申、事業施行にあたった。

**モース** Edward Silvester Mors 1838 (天保9) ~1925 (大正14)

アメリカ人。動物学者。1877 (明治10) 年、研究のため来日。翌年再来日し、東大で教鞭をとる。動物標本採集等のため、全国各地を調査・研究旅行した。1878 (明治11) 年7月に来道。

**小シーボルト** Heinrich Freherrn von Siebold 1852 (嘉永5) ~1908 (明治41)

ドイツ人。大シーボルトの次男で、小シーボルトともいわれる。1869 (明治2) 年来日、1872年に東京のオーストリア公使館書記となる。考古学や人類学的研究にも従事。1878 (明治11) 年8月に、北海道を調査旅行した。

**バード** Isabella L. Bird 1831 (天保2) ~1904 (明治37)

イギリス人の女流旅行家で紀行作家。1878 (明治11) 年、47歳で来日。6~9月にかけて、東北、北海道を旅行。

**ランドー** Arnold Henry Savage Landor 1865 (慶応元) ~1924 (大正13)

イギリス人。1890 (明治23) 年6月に函館を出発、海岸線沿いに北海道を完全に一周し、さらに十勝川、石狩川を遡り、南千島の色丹島に渡り、全行程146日間の旅をしたらしい。

**リポー** M. Michel Ribaud 1870 (明治3) ~?

フランス人。函館教区の最も若い司祭。国内をよく旅行した。展示資料は、1895 (明治27) 年5~7月のもの。

**セルギー** Sergiï 1867 (慶応3) ~1944 (昭和19)

ロシア人。ハリストス正教会掌院。1890年来日し、伝道に尽くす。1898 (明治31) 年、蝦夷地を旅行。

< 参考文献：『北海道歴史人物事典』(北海道新聞社 1993)、展示資料等 >

北方資料展「北の旅、そして観光 今昔 ~蝦夷地探検からエコツーリズムまで~」目録

2008年9月1日発行

編集：北海道立図書館北方資料部 発行：北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41 TEL：011-386-8521 FAX：011-386-6906

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>